

単一学生同盟結成のための全日代表者公議の声明

共産主義青年同盟東京都学生委員会、大阪府学生委員会、民主主義学生同盟の代表は、一九六五年三月二八日、大阪で行なわれた全日単一学生同盟結成のための全日代表者公議に結集した。公議はきわめて友好的で誠実な空気の中で行なわれた。公議は討議された諸問題にかんする参加者の見解が完全に一致していることを明らかにした。

公議は「統一アピール」にもとづく「統一協談会」の積極的イニシアティブとこれまでの活動を高く評価し、基本的に支持した。と同時に、その不十分さ——特に統一協談会の性格、この公議の性格、任務等について説得活動が弱かつたこと、そこからいくつかの誤解を抱き、結集すべき勢力を総て結集しえなかつたこと——を指摘した。

公議はいくつかの組織が不参加であったことをきわめて遺憾に思う。だがわれわれは今後更に多くの組織、クルースの代表が参加されるであろうと確信しているし、そのための一致した強力な努力を継続するであろう。

従ての良心的学友が、進歩的、民主的學生政治組織の分裂にきわめて不誠で、真に大衆的の単一学生同盟の結成を強く要求している。分裂の結果、われわれは多くの進歩的良心的学友を有効に組織しえていない。良心的学友は、我々に統合するよう「下から骨髄」強くつきあけている。だが「人民勢力の戦闘的組織の統一は自然発生的にひとりまにでき上るものではない」。今や自覚した進歩的学友は統合を実現できるとし、実現しなければならぬ時が来ている。

われわれは単一学生同盟結成準備会を早急に確立することが、現時点での最も正しい解答であると考える。各組織の単なる協談連絡では決定的に不十分である。単一学生同盟早期結成という明確な目標にもとづく組織でなければ、有効な機能を果たさないことは明白である。

われわれの結成するであろう準備会——それは、建設的であるべき学生組織の真に統一、大衆的、民主的性格を体現したものであること、派閥主義的でないかなる傾向と一切無縁であること、それへの参加の基準は、唯一、平和共存、反抑占民主主義、学生戦線の統一を旗印とする単一の学生同盟建設を目標とする進歩的、民主的學生政治組織、クルースであること、それは、公開制、満場一致制を運営の基本原則とすること、それは準備委員相互の間で、同盟論、学生運動論等と意志統一をはかると共に、討論誌等を発行し、真に大衆的討議を組織し大衆的に意思統一をはかつてゆくことを自己の主要な任務とすること、を確認した。同時に準備会への結集が直ちには不可能な組織又はクルースとの間に我々は学生運動の統一、革新に向けて、地域的又は部分的な協談の体制の確立に積極的に努力することを確認した。

公議は四月九日、才一冊準備会を提起する。

公議は、全ての民主的學生政治組織、クルースが、準備委員を派遣され、積極的提案をされるよう心から呼びかける。全日従ての進歩的学友諸君、単一学生同盟結成の歩みは、大胆に一步踏みだされた。統一——それは偉大な輝かしい事業である。同時にそれは極めて困難な事業であり、我々の前には、多くの障害が立ちこさかっているであろう。

我々はこの統一のゆきを、曠のように大争にし、いかなる嵐の妨害も排除し、必ずやや巨大な強い水に育みあけるであろう。

全日従ての進歩的學生組織、クルース、学友諸君、我々は、諸君が積極的に参加し、建設的な提案をされるよう心から呼びかける。我々は、それが建設的である限り、いかなる提案、意見にも、常に耳を傾けるものである。

一九六五年三月二八日

単一学生同盟結成のための全日代表者公議

- | | | |
|------------------|----|-------|
| 共産主義青年同盟東京都学生委員会 | 代表 | 田村 紘 |
| 共産主義青年同盟大阪府学生委員会 | 代表 | 吉井 教夫 |
| 民主主義学生同盟全日委員会 | 代表 | 高島 昭嘉 |

附記

(1)才一冊準備会 四月九日PM一〜七(時間厳守)

大阪学芸大学天王寺分校自治会室に集行

議題

- 一、準備会の性格、今後の活動方針の検討
- 二、同盟論
- 三、その他

(2)各団体は各名の代表を民主的に選出し出席されたし
(3)才一冊準備会まで準備の手続きなどは、民学同委員長
高島、共青大阪学生委員会責任者、吉井で責任をもつて行なう。詳細な同台合せ、連絡は

大阪市浪速区恵比須町二一四〇 共青大阪争い所まで
TEL(六三二)二九九八